



リミッツ

年齢：8才から／人数：2～6人／時間：約45分

<セット内容>



色カード
60枚



点数カード
1点、2枚
5点、4枚



リミット
カード2枚

※ゲームの目的※

プレイヤーは順番に手持ちの色カードを出し、場の中央に次々に重ねていきます。ただし、毎回めくられるリミットカードで定められた、色ごとのカード枚数の上限を超えないようにしなければなりません。もし他のプレイヤーの出したカードを見て、その色の上限枚数を超えたと推理したら、そのことを指摘します。指摘が正しければプラス点をもらいます。逆に、間違った場合はマイナス点をもらってしまいます。これを繰り返して最高得点を狙います。

※ゲームの準備※

まず色カードをよく混ぜ、各プレイヤーに5枚ずつ配ります。残りの色カードは裏向きにして場の中央に置きます。点数カードを脇に置き、リミットカードの裏側（「-2」と描かれた方）を上向きにしてよく混ぜ、山をつくり、色カードの山の横に置きます。

※プレイする人数に合わせて、以下の枚数のリミットカードを取り除きます。

- ・2人 → 1枚
- ・3～4人 → 2枚
- ・5～6人 → 4枚

表を見ないようにして各枚数のリミットカードを抜き取り、箱にしまします。

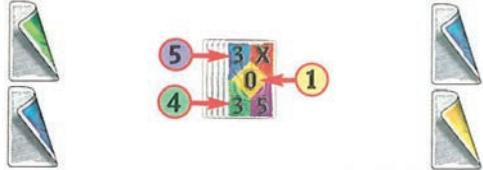
順番を決め、最初のプレイヤーがリミットカードを1枚めくります。

※リミットカードに描かれた数字が、今回のラウンドに出せる色カードごとの限度数を表しています。「X」と描かれた色には限度数がなく、何枚でも出すことができます。

次に、各プレイヤーは手持ち5枚の中から1枚、好きなカードを選んで裏向きに伏せて出し、自分の前に置きます。

※こうして出した1枚によって、今回のラウンドにおけるその色の限度数がその分1つ上がります。ただし、他人が出したカードの色は分からないので、誰ひとりとして本当の限度数が分かっているプレイヤーはいません。

例



この図例のリミットカードでは黄色の限度数は「0」ですが、黄色のカードを伏せて出しているプレイヤーがいるので本当の限度数は「1」になります。同様に青色は2枚出ているので限度数は2つ上がって「5」になり、緑色は1つ上がって「4」になります。

全員がカードを伏せて出したら準備完了！

※遊び方※

いちばん初めのプレイヤーは、手持ちの色カードの中から1枚を選び、表にして場に出します。



1枚場に出したら、必ず色カードの山から1枚補充します。

(※取り忘れた場合は、ラウンド終了まで少ない枚数で続けなければなりません)



時計回りで次(左隣)のプレイヤーの順番です。



同じように色カードを出せますが、これまで他のプレイヤーが出してきた色が、限度数をすでに超えていないかどうか考えなければなりません。



どの色カードも限度数を超えていないと判断したなら、通常どおり色カードを出します。前に出された色カードの上に重ねて、前の色が判らなくなるように出してください。(※ここでも必ず1枚補充してください。)



次のプレイヤーの順番です。これが基本のゲームの流れです。

☆ゲーム中、手持ちのカードの中で同じ色が4枚集まった！☆

プラス点をもらえるチャンスです。自分の番のときに、4枚集まった同じ色カードをみんなに見せて確認してもらい、一旦手元に置きます。次に色カードの山から新しく手持ち4枚を補充し、+1点をもらいます(+1点カードを1枚手元に獲得します)。そして、手元に置いた4枚のうち、2枚を色カードの山のいちばん上に戻し、残り2枚を場に重ねます。(注：このとき場に出した2枚も限度数を超えていないかどうかのカウント対象になるので、誰かに指摘される可能性もあります。)

☆誰かが出した色が限度数を超過している！と思ったとき☆

自分の順番が来たときに、色カードを出す代わりにそれを指摘することができます。限度数を超過している！と思ったプレイヤー(隣である必要はありません)の名前を言って、指摘します。

ここから、全員でその指摘が合っているのか確認します。まず、場に重ねられた色カードを見て、指摘されたプレイヤーが最後に出した色のカード枚数を(順番を変えずに)数えます。ただし、指摘されたプレイヤー以降に出された色カードは含まれません。そして、最初に伏せておいたカード(限度数を上げるカード)を表に向け、その色の本当の限度数を確認し、数えた枚数と比較します。

指摘どおり、その色は限度数を超過していた！

・指摘したプレイヤーは、+1点をもらいます。

・指摘されたプレイヤーは、リミットカードを裏向きにした-2点をもらわなければいけません。

指摘は間違い！ その色は限度数を超過していなかった！

・指摘したプレイヤーは、リミットカードを裏向きにした-2点をもらわなければいけません。

・指摘されたプレイヤーは、+1点をもらいます。



これでこのラウンドは終了です。次のラウンドの準備をします。各プレイヤーは、表に向けた色カード1枚を手札に戻して、枚数を5枚にします。(前回のラウンドでカードを取り忘れて、少ない枚数でプレイしていたプレイヤーも、ここでカードを補充して手持ち5枚に戻せます。)

前のラウンドで場に重ねていった色カードの山は、順番を変えずにそのまま裏返しにして、補充用の色カードの山札の下に入れます。

新しいラウンドでも、各自、色カード1枚を伏せて、限度数を秘密裏に上げます。前のラウンドでリミットカード(-2点)をもらってしまったプレイヤーから場に色カードを出していきます。

以下の流れは同じです。

※ゲーム終了※

ラウンド終了時にリミットカードがなくなった時点でゲーム終了です。各プレイヤーは自分のもらった点数カードで合計得点を集計します。合計得点のもっとも高いプレイヤーがこのゲームの勝者です！

※2人でプレイする場合の特別ルール※

2人の場合はリミットカードの山から1枚を取り除いて準備します。手持ちの色カードの枚数は6枚です。そして、最初に伏せるカードの枚数が2枚になります。つまり、増やせる限度数が2つになるということです。

ラウンドの終わりにはもちろん手持ちカードの数が6枚になるようにしてください。

あとのゲームの進め方は基本ルールと同じです。



輸入販売元 株式会社ブラザー・ジョルダン社